



# NETGEAR®

54 Mbps Wireless Access Point  
**WG602**



ユーザ・ガイド

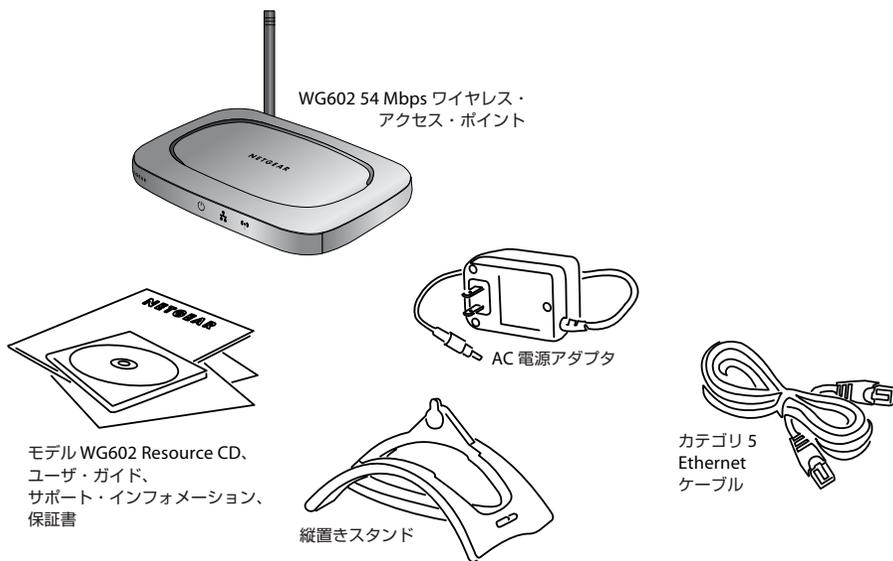
# はじめに

この度は NETGEAR WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。NETGEAR WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントは、既存の 802.11b ワイヤレス・ネットワークに接続できると同時に、802.11b と同じ 2.4 GHz 帯の周波数を使用し 54 Mbps と高速な、新しい 802.11g ワイヤレス・ネットワークへの接続もサポートします。

## パッケージ内容

パッケージには以下のものが含まれています。

- WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイント
- AC アダプタ (12 V DC、1.2 A)
- NETGEAR WG602 Resource CD
- ユーザ・ガイド (本書)
- カテゴリ 5 Ethernet ケーブル (ストレート、1.52m)
- サポート・インフォメーション
- 保証書



カスタマ・サポートの電話番号は、本書の最後のページ、またはサポート・インフォメーションをご覧ください。サポート・インフォメーションとともに、製品のパッケージ (箱) を保管しておいてください。修理・交換のため WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイント を返送する際は、このパッケージに入れて返送してください。

製品の無償保証を受けるために、NETGEAR のホームページでユーザ登録を行ってください。

<http://www.netgearinc.co.jp>

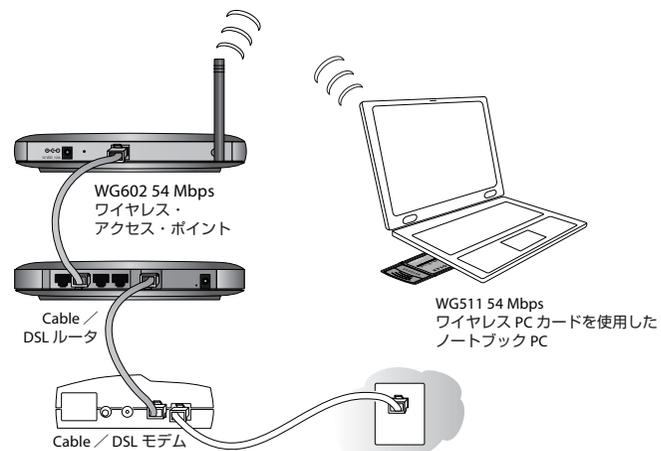
## システム要件

WG602 をインストールする前に、システム環境が以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 複数の 10/100 Mbps Ethernet ポートを装備した Cable / DSL ルータ、または 10/100 Mbps ハブやスイッチ

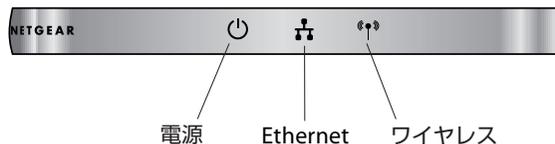
注：WG602 は、下の図に示すようにルータ、スイッチまたはハブに接続する必要があります。

- 本パッケージに含まれているカテゴリ 5 UTP Ethernet ケーブル (ストレート、RJ-45 コネクタ付)、またはこれと同等のケーブル
- AC 電源コンセント (100 V、50/60 Hz)
- 設定に使用する Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer 5.0 またはこれ以降のバージョン、Netscape Navigator® 4.78 またはこれ以降のバージョン)
- TCP/IP プロトコルがインストールされたコンピュータ
- 802.11b または 802.11g 対応機器 (例：NETGEAR WG511 54Mbps ワイヤレス PC カード)



## WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの前面パネル

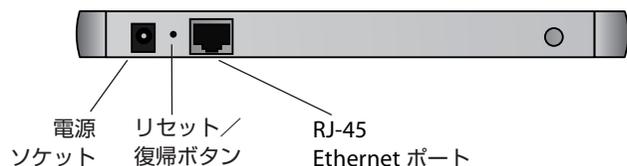
WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの前面パネルには、電源、Ethernet、およびワイヤレスのステータスを表示する LED が装備されています。



LED 表示の意味は以下のとおりです。

LED 表示	ステータス	説明
 電源	消灯	電源がオフの状態です。
	点灯	電源がオンの状態です。
 Ethernet (Link / Activity)	消灯	Ethernet リンクが確立されていません。
	点灯 (緑)	100 Mbps で接続されています。
	点滅 (緑)	100 Mbps でデータの送受信が行われています。
	点灯 (黄)	10 Mbps で接続されています。
 ワイヤレス (Link / Activity)	消灯	ワイヤレス・リンクが確立されていません。
	点滅 (緑)	ワイヤレス・データの送受信が行われています。

## WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの背面パネル



## 電源ソケット

AC アダプタをこのソケットに接続します。

警告： WG602 に付属する AC アダプタ以外は使用しないでください。

## 工場出荷時設定へのリセット／復帰ボタン

RJ-45 Ethernet ポートと電源ソケットの間にあるリセット／復帰ボタンは、WG602 を再起動し工場出荷時のデフォルト設定に戻すために使用します。リセット／復帰ボタンを 5 秒間押し続けると、すべてのユーザ定義の設定は消去されます。

## RJ-45 Ethernet ポート

WG602 の RJ-45 Ethernet ポートには、ハブ、スイッチまたはルータなどの Ethernet 機器を接続します。

## 設置場所と伝送距離に関するガイドライン

屋内での 802.11b ワイヤレス・ネットワークの伝送距離は最大 152.4 m です。しかし、ワイヤレス接続の伝送距離または範囲は、ワイヤレス・アクセス・ポイントの物理的な設置場所によって大きく変わる可能性があります。

性能を最大限に引き出すために、以下のガイドラインに従ってワイヤレス・アクセス・ポイントの設置場所を決定してください。

- 干渉の原因となりうるもの (PC、大きな金属面、電子レンジ、2.4 GHz 帯のコードレス電話など) から遠ざけて設置します。
- ワイヤレス接続したい範囲のできるだけ中心に近く、また棚の上などの高い場所に設置します。

上記のガイドラインに沿った設置場所以外では、性能が著しく低下したり、ワイヤレス・アクセス・ポイントに接続できない場合があります。

## 工場出荷時のデフォルト設定

WG602 の工場出荷時のデフォルト設定は次ページの表のとおりです。

デフォルト設定に戻す場合は、背面パネルにあるリセット／復帰ボタン (3 ページの WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの背面パネルを参照) を押します。

WG602 アクセス・ポイントをインストールした後で、ご利用のネットワークのニーズに合わせて設定を変更することができます。詳しくは7ページのWG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定をご覧ください。

設定項目	工場出荷時のデフォルト設定
User Name (ユーザ名)	admin
Password (パスワード)	password
Access Point Name (アクセス・ポイント名)	netgearxxxxxx (xxxxxx はアクセス・ポイントの MAC アドレスの下6桁)
IP Address (IP アドレス)	192.168.0.227 (DHCP 無効時)
Subnet Mask (サブネット・マスク)	255.255.255.0
Wireless Network Name(SSID) (ワイヤレス・ネットワーク名)	NETGEAR
11 g/b 無線チャネル	11
WEP	Disable (無効)
Authentication Type (認証方式)	Open System (オープン・システム)

注：大文字と小文字は区別されます。アクセス・ポイントは、常にインフラストラクチャ・モードで動作します。アクセス・ポイントと通信するワイヤレス機器のSSIDは、アクセス・ポイントのSSIDと一致していなければなりません。

# 1 WG602 54Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントのインストール

WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントをインストールし設定するための基本的な手順を以下に示します。標準的なセットアップ時間は10～15分です。

- **WG602** ワイヤレス・アクセス・ポイントのインストール
- **アクセスポイントの設定** — 7ページのWG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定をご覧ください。

## WG602 54Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントのインストール

WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントのインストール手順は以下のとおりです。

注：最初は、WG602 をデフォルト設定のままインストールすることをお勧めします。その後、必要に応じて設定を変更したり、暗号化を有効にしたりします。

1. WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントを設置します。  
接続するワイヤレス機器への信号強度が最大になるよう、アクセス・ポイントのアンテナを調整します。  
注：WG602 を壁面や離れた場所に設置する場合は、WG602 の設定と動作確認を設置前に行うことをお勧めします。
2. Ethernet ケーブルを接続します。  
パッケージに同梱されているカテゴリ 5 Ethernet ケーブルを使用して、WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの背面パネルの Ethernet ポートと、Cable / DSL ルータ、Ethernet ハブ、またはスイッチの LAN ポートを接続します。  
注：WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントを LAN に接続する場合は、RJ-45 コネクタ付のカテゴリ 5 Ethernet ケーブルを使用してください。
3. AC アダプタを接続します。  
AC アダプタをアクセス・ポイントの背面パネルにある電源ソケットに接続します。次に、AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。
4. ワイヤレス・アダプタの設定を行います。  
WG602 の設定画面にアクセスするため、802.11b または 802.11g ワイヤレス・アダプタの設定をWG602 の工場出荷時のデフォルト設定に合わせます。  
ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) : **NETGEAR**  
ネットワーク・モード : **インフラストラクチャ**  
WEP : **無効、または OFF**
5. インストールが正しく行われたかを確認します。  
正しくインストールされると電源 LED が点灯し、Ethernet LED が点灯 (100 Mbps 接続の場合は緑、10 Mbps 接続の場合は黄色) します。また、Ethernet LED が点滅している場合は、接続したスイッチ、ルータ、またはハブとの間でデータの送受信が行われています。  
ワイヤレス LED は点滅します。速く点滅する場合は、アクセス・ポイントでワイヤレス・データの送受信が行われています。

6. ワイヤレス接続を確認します。

802.11b または 802.11g ワイヤレス・アダプタを使用したコンピュータから、インターネットを閲覧したり、ネットワーク上のファイルにアクセスできるかどうか確認してください。正しく動作する場合は、WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントは正しくインストールされています。

問題がある場合： WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントのインストール中に問題が発生した場合は、22 ページのトラブルシューティングをご覧ください。

セキュリティ：セキュリティについては、18 ページの ワイヤレス・ネットワークの保護 をご覧ください。

設定変更：設定変更については、次の WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定 をご覧ください。

## 2 WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定

WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントは、Microsoft Internet Explorer (バージョン 5.0 以上)、または Netscape Navigator (バージョン 4.78 以上) からリモート設定することができます。

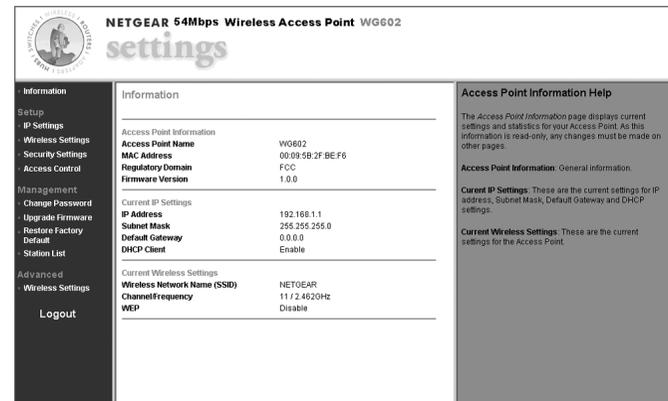
1. アクセス・ポイント名を確認します。

アクセス・ポイント名は、アクセス・ポイント底面のラベルに書かれています。  
(例： **netgear10d4b5**)

2. Web ブラウザを開きます。(Internet Explorer または Netscape Navigator)

3. ウィンドウ上部のアドレスまたは場所ボックスにアクセス・ポイント名を入力し **Enter** を押します。(“www” や “http://” を入力する必要はありません。)

注：アクセス・ポイント名の “netgear” と 6 桁の英数字の間には、スペースは入れないでください。



アクセス・ポイント名を入力すると、Web ブラウザは自動的に WG602 アクセス・ポイントを見つけ、上のような WG602 の設定画面が表示されます。

WG602 の設定画面には、WG602 の IP アドレスを指定しアクセスすることもできます。

上級ユーザ向き： WG602 アクセス・ポイントの設定画面にアクセスするために、Ethernet ネットワークで DHCP サーバを使用することをお勧めします。DHCP サーバが利用できない場合、WG602 アクセス・ポイントの IP アドレスとサブネット・マスクはデフォルト設定になります。(IP アドレス **192.168.0.227**、サブネットマスク **255.255.255.0**) コンピュータの IP アドレスは、アクセス・ポイントと同じサブネットになるよう設定します。

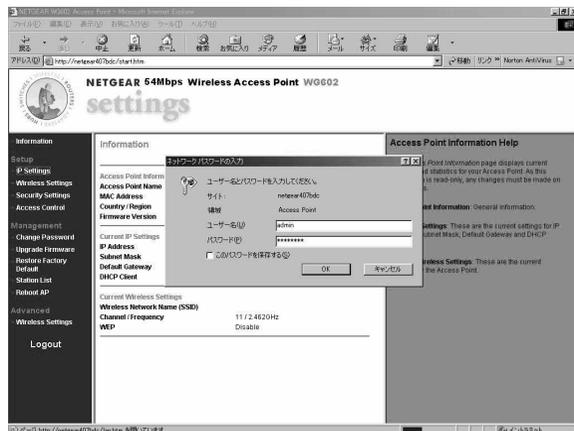
WG602 に接続できない場合は、22 ページのトラブルシューティングを参照してください。

4. WG602 アクセス・ポイントを設定するには、Setup (セットアップ) メニューのいずれかのオプションをクリックし、アクセス・ポイントにログインします。

## アクセス・ポイントへのログイン

アクセス・ポイントをセットアップするために、以下の手順でアクセス・ポイントにログインします。

1. WG602 設定画面の **Setup** (セットアップ) メニューのいずれかのオプションをクリックします。
2. パスワードの入力ウィンドウが表示されます。デフォルトのユーザ名 **“admin”** とデフォルトのパスワード **“password”** を入力します。



注：ユーザ名とパスワードでは、大文字と小文字は区別されます。

これ以降、いつでもパスワードを変更することができます。その場合は、**Management** (管理) メニューの **Change Password** (パスワード変更) オプションを選択します。

3. **OK** をクリックします。選択した Setup (セットアップ) オプションのウィンドウが表示されます。

## 基本セットアップ・パラメータの設定

以下の手順でアクセス・ポイントをセットアップします。

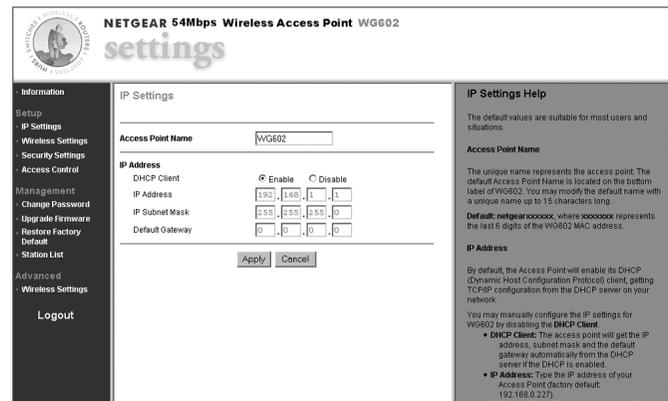
1. アクセス・ポイントの Setup (セットアップ) メニューから、次のオプションを選択します。：  
IP Settings (IP 設定)、Wireless Settings (ワイヤレス設定)、Security Settings (セキュリティ設定)、Access Control (アクセス制御)
2. 必要な設定を入力したら Apply (適用) ボタンをクリックし変更を有効にします。

注：ワイヤレス・アダプタは、WG602 のワイヤレス設定と同じ設定にします。

詳しくは次ページからの表を参照してください。

## セットアップ・オプション

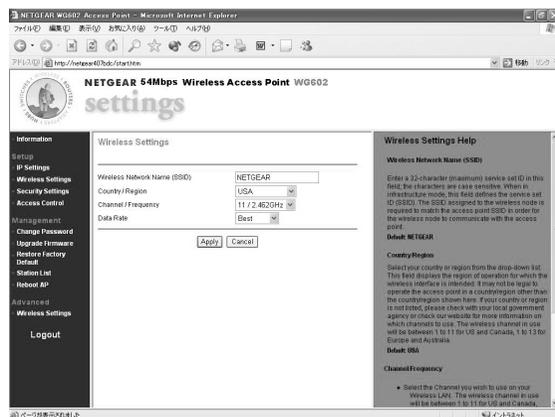
### IP 設定 (IP Settings)



設定項目	説明
Access Point Name (アクセス・ポイント名)	アクセス・ポイントに付けられた固有の名前です。デフォルトのアクセス・ポイント名は、WG602 の底面ラベルに記載されています。アクセス・ポイント名は変更することができます。(英数字、最大 15 文字) デフォルト： <b>netgearxxxxxx</b> (xxxxxxx は WG602 の MAC アドレスの下 6 桁)
IP Address (IP アドレス)	アクセス・ポイントの IP アドレスを指定します。 デフォルト： <b>192.168.0.227</b>
Subnet Mask (サブネット・マスク)	アクセス・ポイントのサブネット・マスクを指定します。 デフォルト： <b>255.255.255.0</b>
Default Gateway (デフォルト・ゲートウェイ)	デフォルト・ゲートウェイの IP アドレスを指定します。 デフォルト： <b>0.0.0.0</b>
DHCP Client (DHCP クライアント)	DHCP が有効な場合、アクセス・ポイントは IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイを DHCP サーバから自動的に取得します。 デフォルト： <b>Enable (有効)</b>

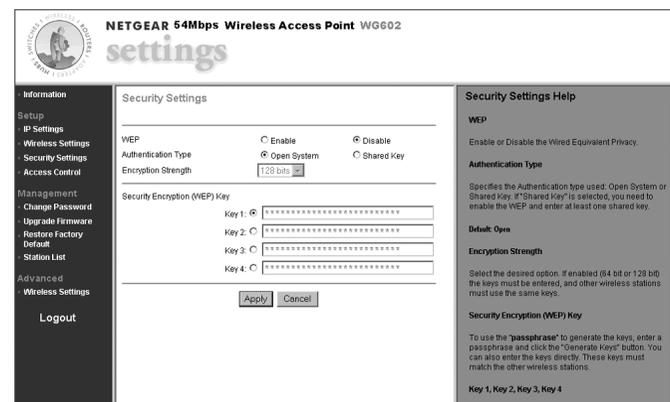
注：WG602 が起動時に DHCP サーバを見つけることができない場合は、IP アドレスはデフォルト設定の **192.168.0.227** になります。WG602 の IP アドレスが不確かな場合は、WG602 の背面パネルにあるリセット／復帰ボタンを 5 秒間以上押して、デフォルトの IP アドレスへ戻してください。DHCP クライアントが有効になっている場合は、WG602 は DHCP サーバからの IP アドレスをステーションに提供します。

## ワイヤレス設定 (Wireless Settings)



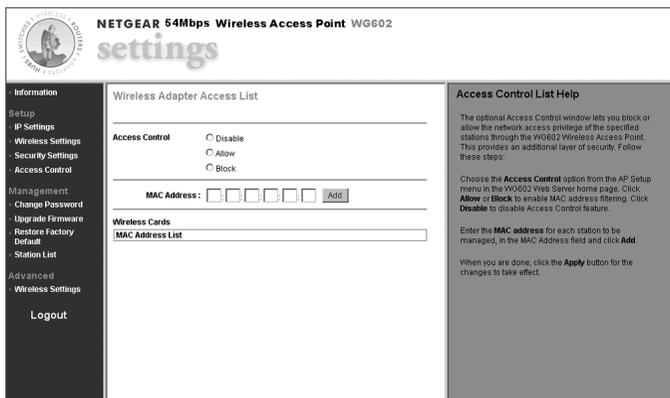
設定項目	説明
Wireless Network Name(SSID) (ワイヤレス・ネットワーク名)	このフィールドには最大 32 文字の SSID を入力します。大文字と小文字は区別されます。インフラストラクチャ・モードの場合、このフィールドは SSID (サービスセット識別子) を定義します。ワイヤレス・ノードに割り当てる SSID は、ワイヤレス・ノードがアクセス・ポイントと通信できるよう、アクセス・ポイントの SSID と一致している必要があります。 デフォルト： <b>NETGEAR</b>
Country / Region (国/地域)	使用する国/地域を選択します。日本で使用する場合は Japan を選択します。 デフォルト： <b>USA</b>
Channel / Frequency (チャンネル/周波数)	現在使用中のチャンネルと周波数を表示します。(1 ~ 14) デフォルト： <b>11</b>
Data Rate (伝送速度)	ワイヤレス・ネットワークの伝送速度を表示します。(1, 2, 5.5, 6, 9, 11, 12, 18, 24, 36, 48, 54 Mbps) デフォルト： <b>Best</b>

## セキュリティ設定 (Security Settings)



設定項目	説明
Authentication Type (認証方式)	認証方式を指定します。(Open System (オープン・システム) または Shared Key (シェアード・キー)) “Shared Key” を選択した場合は、WEP を有効にし、少なくとも 1 つのシェアード・キーを入力する必要があります。 デフォルト： <b>Open System</b>
WEP	<b>WEP (Wired Equivalent Privacy)</b> の有効/無効を指定します。 デフォルト： <b>Disable (無効)</b>
Encryption Strength (WEP 暗号キーの長さ)	WEP 暗号キーのサイズを指定します。(64 bit または 128 bit)
Passphrase (パスフレーズ)	WEP キーを 16 進数で入力する代わりに、テキストを入力し自動的に 4 つの WEP キーを生成します。 デフォルト： (ブランク)
Generate Keys (キー生成)	WEP キーを生成するためパスフレーズの使用を選択した場合は、このボタンをクリックします。
Key (キー) 1 - 4	入力または生成された 16 進数のキーの値を指定します。 デフォルトキー： <b>Key 1</b>

## アクセス制御 (Access Control)



Access Control (アクセス制御) オプションで、WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントへのアクセスを許可するステーション、または許可しないステーションを指定することができます。以下の手順に従ってください。

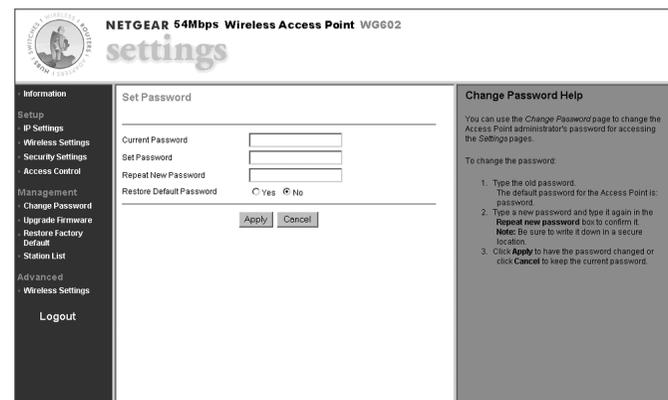
1. WG602 設定画面の Setup (セットアップ) メニューから、**Access Control** (アクセス制御) オプションを選択します。MAC アドレス・フィルタリングを有効にする場合は、**Allow** (許可) または **Block** (拒否) をクリックします。無効にする場合は、**Disable** (無効) をクリックします。
2. 管理したいステーションのワイヤレス・アダプタの **MAC Address** (MAC アドレス) を入力し Add (追加) をクリックします。
3. **Apply** (適用) ボタンをクリックし、変更を有効にします。

設定項目	説明
Access Control (アクセス制御)	アクセス制御のオプションを指定します。: Disable (無効)、Allow (許可)、または Block (拒否) デフォルト: <b>Disable</b> (無効)
MAC Address (MAC アドレス)	アクセス制御リストに登録するステーションの MAC アドレスを指定します。
MAC Address List (MAC アドレス・リスト)	アドレス制御リストに登録された MAC アドレスを表示します。 MAC アドレス登録数は最大 100 です。

アクセス制御リストのエントリは追加、編集、削除することができます。

## 管理オプション

### パスワードの変更 (Change Password)



1. パスワードを変更するには、WG602 設定画面の Management (管理) メニューから **Change Password** (パスワード変更) オプションを選択します。デフォルトのパスワードは "**password**" です。
2. パスワードを変更し、**Apply** (適用) をクリックし新しいパスワードを有効にします。

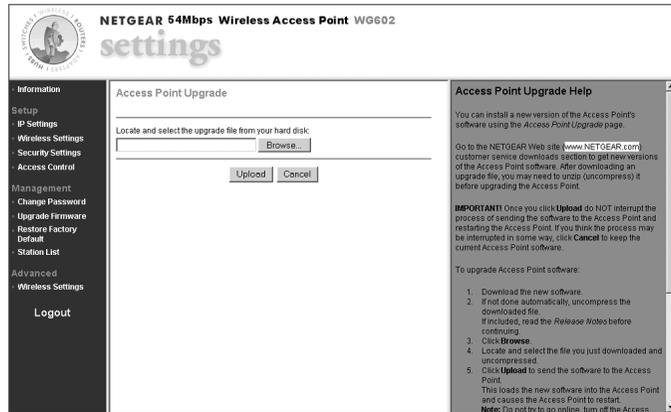
**重要:** 新しいパスワードは必ず書き留めておいてください。パスワードを忘れると、アクセス・ポイントのセットアップができなくなります。デフォルトのパスワード "**password**" に戻すには、**Yes** ボタンをクリックし、**Apply** (適用) ボタンをクリックします。

設定項目	説明
Current Password (現在のパスワード)	現在のパスワードを入力します。
Set Password (新しいパスワード)	新しいパスワードを入力します。
Repeat New Password (新しいパスワードの再入力)	新しいパスワードを再入力します。
Restore Default Password (デフォルトのパスワードへ戻す)	<b>Yes</b> 、または <b>No</b> デフォルト: <b>No</b>

## ファームウェア・アップグレード (Upgrade Firmware)

Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード) オプションで、WG602 のファームウェアを最新のものにアップグレードすることができます。

WG602 のファームウェアをアップグレードする前に、NETGEAR のサポート Web サイトから最新のファームウェアをダウンロードしておいてください。 : <http://www.netgear.com/support>



1. WG602 ファームウェア・ファイルの場所を入力するか、または **Browse** (参照) ボタンをクリックして、ローカル・ディスク上のファームウェア・ファイルを指定します。
2. **Upload** (アップロード) をクリックするとアップグレードが実行されます。次に **Reboot** (再起動) ボタンをクリックして変更を有効にします。

設定項目	説明
File Name (ファイル名)	WG602 のファームウェア・イメージ・ファイルを指定します。
Browse (参照)	Browse (参照) ボタンを押し、ローカル・ディスクにあるファームウェア・イメージ・ファイルを選択します。

アップグレードボタンをクリックすると、アップグレード操作を行うことができます。

## 工場出荷時のデフォルト設定に戻す (Restore Factory Default)

**Restore Factory Default** オプションで、工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

## ステーション・リスト (Station List)

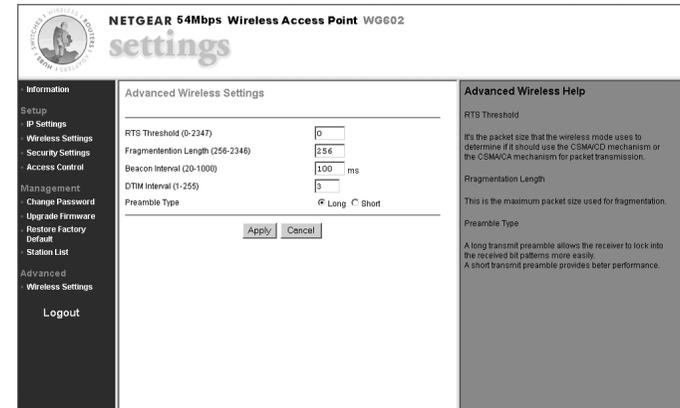
Station List (ステーション・リスト) オプションでは、アクセス・ポイントに接続しているステーションの **Station ID** (ステーション ID)、**MAC Address** (MAC アドレス)、**Channel** (チャネル)、および **Status** (ステータス) が表示されます。

## アクセス・ポイントのリセット (Reboot AP)

このオプションを選択すると、アクセス・ポイントをリセットすることができます。

## アドバンス・オプション

### ワイヤレス設定 (Wireless Settings)



ワイヤレス LAN のアドバンス設定を行う場合は、以下の手順に従ってください。

1. WG602 設定画面の Advanced (アドバンス) メニューから、**Wireless Settings** (ワイヤレス設定) オプションを選択します。
2. ワイヤレス設定を変更し、**Apply** (適用) をクリックし変更を有効にします。

注：お使いのワイヤレス・アダプタに対しても、必ず同じ設定変更を行ってください。

設定項目	説明
RTS Threshold (RTS しきい値)	RTS (送信要求) しきい値は、パケット伝送のために CSMA/CD (搬送波感知多重アクセス/衝突検出) 方式を使うべきか、CSMA/CA (搬送波感知多重アクセス/衝突回避) 方式を使うべきかを決定するために用いられるパケット・サイズ。CSMA/CD 伝送方式では、送信ステーションは待ち時間が経過したらすぐにパケットを送出します。CSMA/CA 伝送方式では、送信ステーションは RTS パケットを受信ステーションに送出し、受信ステーションから CTS (送信許可) パケットが送信されてくるのを待ってからパケット・データを送信します。(0 ~ 2346) デフォルト: <b>2346</b>
Fragmentation Length (フラグメンテーションの長さ)	送信パケットが分割される場合の最大パケット・サイズ。このフィールドのサイズよりも長いパケットは分割されます。フラグメントのしきい値は、RTS しきい値よりも大きくなければなりません。 (256 ~ 2346) デフォルト: <b>2346</b>
Beacon Interval (ビーコン間隔)	アクセス・ポイントが送信するビーコンの送信間隔を指定します。 (20 ~ 1000 (ミリ秒)) デフォルト: <b>100</b>
DTIM Interval (DTIM 間隔)	DTIM (Delivery Traffic Indication Message) がビーコンに含まれる頻度を指定します。(1 ~ 255) デフォルト: <b>1</b>
Preamble Type (プリアンブルのタイプ)	ロング・プリアンブルでは、接続の信頼性が増し伝送距離が若干長くなります。ショート・プリアンブルでは、パフォーマンスが向上します。(Long または Short) デフォルト: <b>Long</b>

## セキュリティ設定

ワイヤレスで伝送されるデータに不正なワイヤレス・ステーションがアクセスするのを防ぐため、Setup (セットアップ) メニューの Security Settings (セキュリティ設定) オプションで、認証方式と WEP (Wired Equivalent Privacy) と呼ばれるデータ暗号化を設定することができます。

WEP 以外のセキュリティ機能の設定については、18 ページの ワイヤレス・アクセス・セキュリティの基本機能の設定 を参照してください。

1. ブラウザから WG602 設定画面にアクセスします。

2. Setup (セットアップ) メニューの Security Settings (セキュリティ設定) をクリックして、アクセス・ポイントにログインします。
3. 認証方式を選択します。  
WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの認証方式は、Authentication Type (認証方式) で **Open System** (オープン・システム) または **Shared Key** (シェアード・キー) のどちらかのボタンを選択します。他のすべてのワイヤレス機器も同じ設定にします。シェアード・キー方式は、オープン・システム方式よりもセキュリティが強化されます。
4. 必要に応じて 802.11b/g WEP 暗号化をセットアップします。  
802.11b/g の場合、4 つのキーはすべて同じ暗号化レベル (**64 bit または 128 bit**) になります。  
ネットワークのすべてのワイヤレス機器は、ここで選択した暗号キーと同じキーの値に設定します。デフォルトの暗号キーが、アクセス・ポイントの暗号化レベルを決定します。  
**64 bit 暗号化:**  
10 桁の 16 進数 (A - F, a - f, 0 - 9) (例: 11AA22BB33)  
**128 bit 暗号化:**  
26 桁の 16 進数 (A - F, a - f, 0 - 9) (例: 00112233445566778899AABBCC)  
**Passphrase (パスフレーズ):**  
WEP キーを直接入力する代わりに、パスフレーズを入力し WEP キーを自動生成します。大文字と小文字は区別されます。
5. 設定が終わったら **Apply** (適用) ボタンをクリックします。次に **Reboot** (再起動) ボタンをクリックして変更を有効にします。

## 3 ワイヤレス・ネットワークの保護

ワイヤレス接続はノード間の物理的な接続がないため、情報の盗聴に対して脆弱になります。本章では、ネットワークを保護するための WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの基本的なセキュリティ機能の使用法を説明します。

お使いのネットワークがすでに暗号化されている場合でも、ここで説明されているその他のセキュリティ機能は有用です。

### ワイヤレス・アクセス・セキュリティの基本機能の設定

ワイヤレス・ネットワークのセキュリティを強化するには、以下のようないくつかの方法があります。

- WG602 のデフォルトの管理者パスワードを変更する。

- WG602 を容易に手の届かない場所に設置する。
- WG602 のデフォルトのワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) を変更する。
- WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化を有効にする。
- ワイヤレス・アダプタの MAC アドレスでワイヤレス・アクセスを制限する。

注：WG602 のワイヤレス・セキュリティ設定に加え、適切な LAN のセキュリティ設定を行ってください。(例：ネットワークの共有リソースへアクセスする際に、ユーザ名とパスワードを要求する。)

## デフォルト・パスワードの変更

デフォルト・パスワードを変更する前に、新しいパスワードを書き留めておいてください。パスワード変更方法の詳細は 14 ページをご覧ください。

パスワード： \_\_\_\_\_

必要に応じて、背面パネルのリセット／復帰ボタン (3 ページ参照) を押すことにより、WG602 アクセス・ポイントのパスワードを工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

## アクセス・ポイントのセキュリティ

アクセス・ポイントのセキュリティ強化のため、WG602 のデフォルトのワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) を変更し、WEP 設定を有効にすることをお勧めします。

ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) と WEP 設定を変更する前に、以下の手順で設定パラメータを決定します。

1. 新しいワイヤレス・ネットワークの場合は、次ページの記入欄に設定パラメータを記入してください。既存のワイヤレス・ネットワークの場合は、ネットワーク管理者から設定パラメータ情報を入力し記入してください。
  - ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID)：サービスセット識別子 (SSID) は、ワイヤレス LAN を識別するものです。WG602 のデフォルト SSID は **NETGEAR** です。SSID は、32 文字までの英数字を使って変更することができます。変更した SSID は、下の記入欄に書き留めておいてください。

注：ワイヤレス・アクセス・ポイントの SSID には、ワイヤレス・アダプタ・カードで設定した SSID と同じ SSID を設定します。互いに通信しあうアクセス・ポイントとワイヤレス・ノードには、すべて同じ SSID を設定する必要があります。SSID では大文字と小文字は区別されます。

SSID： \_\_\_\_\_

- **Authentication (認証)**：認証方式の設定 (**Open System** (オープン・システム) または **Shared Key** (シェアード・キー)) は、伝送の暗号化とは無関係です。セキュリティを強化するためには Shared Key (シェアード・キー) を選択してください。

Authentication Type (認証方式) (どちらかにチェック)： Open System (オープン・システム)、 Shared Key (シェアード・キー)

注： Shared Key を選択した場合は、ネットワークの他の機器も Shared Key に設定してください。

- **Passphrase (パスフレーズ)**：テキストのパスフレーズを入力すると、自動的に 16 進数による 4 つの WEP キーが生成されます。

パスフレーズ： \_\_\_\_\_

- **WEP 暗号化**：キー・サイズの違いの説明については、17 ページの **セキュリティ設定** を参照してください。

WEP 暗号キー：

WEP 暗号キーのサイズを選択します。(どちらかにチェック)： 64 bit、 128 bit。

Key 1： \_\_\_\_\_

Key 2： \_\_\_\_\_

Key 3： \_\_\_\_\_

Key 4： \_\_\_\_\_

2. 次のセクション以降に記述されている手順で WG602 を設定します。
3. この情報は安全な場所に保管してください。

## ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) の変更

ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) の設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. 7 ページからの WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定 を参考に、Wireless Settings (ワイヤレス設定) ウィンドウを開きます。
2. SSID を変更するには、新しい SSID を入力します。

注：大文字と小文字は区別されます。アクセス・ポイントは、常にインフラストラクチャ・モードで動作します。アクセス・ポイントと通信するワイヤレス機器の SSID は、アクセス・ポイントで設定された SSID と一致していなければなりません。

3. **Apply (適用)** をクリックし、変更を有効にします。

## WEP 暗号化の設定

WEP 暗号化の設定を行うには、以下の手順に従ってください。

1. 7 ページからの WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定 を参考に、Security Settings (セキュリティ設定) ウィンドウを開きます。
2. Authentication Type (認証方式) の設定 (**Open System** (オープン・システム) または **Shared Key** (シェアード・キー)) は、伝送の暗号化とは無関係です。セキュリティを強化するためには **Shared Key** (シェアード・キー) を選択してください。
3. 17 ページの セキュリティ設定 を参考に、キーを設定します。ネットワークの他のワイヤレス機器にも、同じ暗号化設定を行う必要があります。
4. **Apply** (適用) をクリックし、これらの変更を有効にします。

## MAC アドレスによるワイヤレス・アクセスの制限

Ethernet およびワイヤレス LAN ネットワーク上の各機器は、MAC (メディア・アクセス制御) アドレスを持っています。これは、メーカーが各機器に割り当てた 48 bit の固有の番号です。

ワイヤレス・ネットワークへの不正アクセスを防ぐための手段として、指定した MAC アドレスの機器だけがアクセスできるよう、アクセスを制限することができます。許可された MAC アドレスを持つワイヤレス機器からの通信であることを認識し受け付けるために、ワイヤレス・アクセス・ポイントを設定する必要があります。

現在使用中のワイヤレス・ネットワークの各機器の MAC アドレスを確認するには、Management (管理) メニューの Station List (ステーション・リスト) オプションで確認できます。

WG602 へのアクセス制限を行うには、以下の手順に従ってください。

1. 7 ページからの WG602 54 Mbps ワイヤレス・アクセス・ポイントの設定 を参考に、Access Control (アクセス制御) ウィンドウを開きます。
2. アクセスを許可または拒否する機器の MAC アドレスを入力し **Add** (追加) をクリックします。

## トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
Web ブラウザから WG602 の設定ができない。	システムに問題がある可能性がある。または、正しい IP アドレス、またはアクセス・ポイント名が指定されていない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• WG602 ワイヤレス・アクセス・ポイントの電源を抜いて、再び電源を入れます。</li><li>• お使いのコンピュータと WG602 アクセス・ポイントが同じサブネットに属していることを確認します。</li><li>• Web ブラウザのキャッシュをクリアしてから、正しい IP アドレス、またはアクセス・ポイント名を入力します。</li><li>• WG602 背面のリセット/復帰ボタンを押して、デフォルト設定に戻します。</li></ul>
Web ブラウザから WG602 の設定ができない。	アクセス・ポイントが DHCP サーバにアクセスできない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• WG602 のデフォルト設定は、IP アドレス 192.168.0.227、サブネット・マスク 255.255.255.0 です。お使いの PC の IP アドレスが、同じ IP サブネットになるよう設定してください。(例: 192.168.0.x)</li></ul>
アクセス・ポイントの LED が点灯しない。	アクセス・ポイントの電源が入っていない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源 LED が点灯するまでに数秒かかります。少し待ってからアクセス・ポイントの電源 LED の状態を確認してください。</li><li>• AC アダプタのアクセス・ポイントに正しく接続されているか確認します。</li><li>• AC アダプタがコンセントに正しく接続されているか確認します。電源タップを使用している場合は、電源タップに電源が来ているか確認します。</li><li>• アクセス・ポイントに同梱されている AC アダプタを使用してください。</li></ul>

問題	原因	解決方法
Ethernet LED が点灯しない。	電源 LED は点灯しており、Ethernet ケーブルも Ethernet ポートに接続されているが、Ethernet LED が点灯しない場合は、ハードウェア接続に問題がある可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Ethernet ケーブルのもう一方の端がハブやスイッチに接続されていない、またはハブやスイッチの電源が入っていません。ケーブルがポートにカチッという音がするまで完全に差し込まれているか確認します。</li> <li>• Ethernet ケーブルが不良です。アクセス・ポイントに同梱されているケーブルに取り替えてみてください。</li> <li>• ルータとモデム間のケーブルが不良です。標準のストレート・ケーブル、またはアクセス・ポイントに同梱されているケーブルに取り替えてみてください。</li> </ul>
ワイヤレス・ネットワークから Ethernet ネットワークにアクセスできない。	ワイヤレス・アダプタの設定がアクセス・ポイントと同じ設定でない可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイヤレス・アダプタとアクセス・ポイントのワイヤレス設定を確認します。ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID)、WEP、その他の設定は、ワイヤレス・ネットワーク上のすべてのコンピュータ、機器で同一でなければなりません。</li> </ul>

## CE Declaration of Conformity

For the following equipment:

**54 Mbps Wireless Access Point**  
(Product Name)

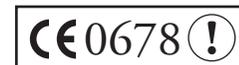
**WG602**  
(Model Designation)

is herewith confirmed to comply with the requirements set out in the Council Directive on the Approximation of the Laws of the Member States related to Electromagnetic Compatibility (89/336/EEC), Low-voltage Directive (73/23/EEC) and the Amendment Directive (93/68/EEC). For the evaluation regarding the Directives, the following standards were applied:

ETS 300 328:1996-11+A1:1997-07

ETX 300 826: 1997-11

EN60950:1992+A1:1993+A3:1995+A4:1996+A11:1997



## Déclaration de conformité CE

Il est certifié que l'équipement suivant :

**54 Mbps Wireless Access Point**  
(nom du produit)

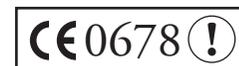
**WG602**  
(désignation du modele)

est conforme aux exigences définies par la Directive du Conseil concernant le rapprochement des législations des États Membres relatives à la compatibilité électromagnétique (89/336/CEE), la Directive sur les basses tensions (73/23/CEE) et la Directive d'amendement (93/68/CEE). Les normes suivantes ont été appliquées pour évaluer la conformité à ces Directives :

ETS 300 328:1996-11+A1:1997-07

ETX 300 826: 1997-11

EN60950:1992+A1:1993+A3:1995+A4:1996+A11:1997



# FCE-Konformitätserklärung

Für folgendes Gerät:

**54 Mbps Wireless Access Point**  
(Produktname)

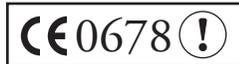
**WG602**  
(Modellbezeichnung)

wird hiermit bestätigt, dass das Gerät den Anforderungen der Richtlinie zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten in Bezug auf Elektromagnetische Verträglichkeit (89/336/EEC), Niederspannung (73/23/EEC) und der abgeänderten Verordnung (93/68/EEC) entspricht. Für die Bewertung der Richtlinien wurden folgende Standards angewandt:

ETS 300 328:1996-11+A1:1997-07

ETS 300 826:1997-11

EN 60950:1992+A1:1003+A3:1995+A4:1996+A11:1997



## Statement of Conditions

In the interest of improving internal design, operational function, and/or reliability, NETGEAR reserves the right to make changes to the products described in this document without notice. NETGEAR does not assume any liability that may occur due to the use or application of the product(s) or circuit layout(s) described herein.

## Certificate of the Manufacturer/Importer

It is hereby certified that the Model WG602 54 Mbps Wireless Access Point has been suppressed in accordance with the conditions set out in the BMPT- AmtsblVfg 243/1991 and Vfg 46/1992. The operation of some equipment (for example, test transmitters) in accordance with the regulations may, however, be subject to certain restrictions. Please refer to the notes in the operating instructions.

Federal Office for Telecommunications Approvals has been notified of the placing of this equipment on the market and has been granted the right to test the series for compliance with the regulations.

## 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置（住宅地域、またはその隣接地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に適合しています。しかし、この装置をラジオやテレビ受信機に近づけて使用すると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## Federal Communications Commission (FCC) Compliance Notice: Radio Frequency Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that

may cause undesired operation.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

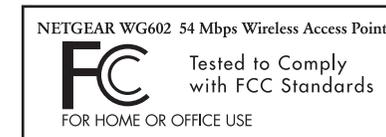
Modifications made to the product, unless expressly approved by NETGEAR, Inc., could void the user's authority to operate the equipment.

## Federal Communications Commission (FCC) Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

## Canadian Department of Communications Radio Interference Regulations

This digital apparatus (Model MA401 Wireless PC Card) does not exceed the Class B limits for radio-noise emissions from digital apparatus as set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.



# テクニカル・サポート

NETGEAR 製品のインストール、設定、または使用に関するご質問や問題については、お買い求めになった販売店へご相談ください。もしくは、下記の NETGEAR カスタマ・サポートまでご連絡ください。

本製品の無償保証期間は 3 年間です。保証は、センドバック、ユニット交換での対応となります。無償保証を受けるためにはユーザ登録が必要です。ユーザ登録をするには、<http://www.netgearinc.co.jp> にアクセスしてください。

## NETGEAR カスタマ・サポート

電話：0053-1790011 (03-5207-7230)

受付時間：平日 9:00 - 17:00

E-mail：netgear.support@netgearinc.co.jp

©2003 NETGEAR, Inc. NETGEAR、NETGEAR ロゴ、Gear Guy、Everybody's connecting は、米国およびその他の国における NETGEAR, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft、および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。その他のブランド名および製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。記載内容は、予告なしに変更されることがあります。All rights reserved.



U-10017-01

2003 年 2 月